



# 科学技術政策特論

## 「科学技術政策特論」からのお知らせ

～ 第12回講義は我が国の研究開発力・イノベーション力の抜本的強化がテーマです～

履修予定の有無に関わらず、学部生、文系、さらに教員の方のご聴講も歓迎いたします

日時 7月5日(金) 5講 (16:30-18:00)

場所 工学研究院  
オープンホール  
(B-201)

### 第12回

## 我が国の研究開発力・ イノベーション力の抜本的強化

文部科学省 科学技術・学術政策局長：本学OB  
土屋 定之

### 土屋先生からのメッセージ

近年我が国では、世界の経済社会の急激な構造変化の中、科学技術イノベーションを含めて国際競争力が低下し、我が国の存在感が揺らいでいます。イノベーションに関する国際競争力ランキングで、我が国は2007年の4位から2012年には25位にまで急落しました。ハイテク産業のシェアは、中国が1995年の3%から2010年の19%に急伸する一方で、我が国のシェアは27%から13%にまで低下しています。そのような緊急事態とも言える中で、科学技術イノベーション政策を梃子に、我が国の未来をどのように切り開くのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。



### 土屋 定之 先生

1979年 北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了  
科学技術庁入庁。メリーランド大学留学、宇宙開発事業団  
ロサンゼルス事務所長、科技庁核燃料課長、文科省基盤  
政策課長、総務課長、文化庁文化財部長、大臣官房長等を  
経て現職。現在、センター・オブ・イノベーション構想を  
はじめとする科学技術イノベーション政策の推進に日々  
奔走されています。

